

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15020030

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	3 消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	消防施設整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	15 消防支署	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	消防施設整備数		#N/A	
事業目標	23箇所	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 消防組織法、消防力の整備指針	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	消防施設整備	第3分団屋根改修工事 消防庁舎屋上防水加工工事 消防ポンプ保守点検 消防庁舎シャッター保守点検 サイレン塔補修工事(魚田) 高圧柱上開閉器更新工事	サイレン塔補修工事(幌内) 消防ポンプ保守点検 消防庁舎シャッター保守点検	消防ポンプ保守点検 消防庁舎他車庫シャッター保守点検 サイレン塔補修工事(沢木) 第1分団3部車庫改修工事 消防庁舎シャッター修理	消防ポンプ保守点検 消防庁舎他車庫シャッター保守点検 消防庁舎床改修工事 消防庁舎シャッター修理 車庫温風機取替工事	消防ポンプ保守点検 消防庁舎他車庫シャッター保守点検 発電機用バッテリー取替修理 デジタル携帯無線機電池購入	
	事業費(千円)	19,560	8,350	800	5,210	4,300	900
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	19,560	8,350	800	5,210	4,300	900	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,723	8,005	718	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	8,723	8,005	718				
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 第3分団屋根改修工事 消防庁舎屋上防水加工工事 消防ポンプ保守点検 消防庁舎シャッター保守点検 サイレン塔補修工事(魚田) 高圧柱上開閉器更新工事 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) サイレン塔補修工事(幌内) 消防ポンプ保守点検 消防庁舎シャッター保守点検 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	6箇所	3箇所	5箇所	5箇所	4箇所
		年度達成率	96%	90%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	41%	45%	45%	45%	45%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	消防施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	高野 一晃

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	消防施設の老朽化等	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防施設を維持管理、整備及び更新することにより、防災拠点としての機能を充実させる。	① サイレン塔補修工事(幌内) 消防ポンプ保守点検 消防庁舎シャッター保守点検	目標年度	平成26年度
			目標値	その他特記事項 ○○
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	消防業務が総合的に強化され充実することにより、町民の安全、安心が保たれる。	②	実績値	その他特記事項 ○○
			達成度	#VALUE! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	サイレン塔補修工事(幌内)・消防ポンプ保守点検・消防庁舎シャッター保守点検	適切な積算に基づき、可能な限りコストの削減に努め、工事・点検を行った。	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	防災拠点としての消防施設及び機能は正常な状態に維持管理されなければならないため、施設の整備は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	消防施設の機能が適正に維持管理されることにより、消防力が維持され、消防業務を円滑に行える状態が保たれている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	適切な積算に基づき、可能な限りコスト削減に努め、工事・点検を行った。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民の生命、身体及び財産を守る拠点施設等の整備であり、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

25年度 第3分団屋根改修工事 100% 消防庁舎屋上防水加工工事 100% 消防ポンプ保守点検 100% 消防庁舎シャッター保守点検 100% サイレン塔補修工事(魚田) 100% 高圧柱上開閉器更新工事 100%
26年度 サイレン塔補修工事(幌内) 100% 消防ポンプ保守点検 100% 消防庁舎シャッター保守点検 100%
27年度 サイレン塔補修工事(沢木)予定 消防ポンプ保守点検予定 消防庁舎シャッター保守点検予定 消防庁舎シャッター修理予定 第1分団3部庫庫改修工事予定
28年度 消防ポンプ保守点検予定 消防庁舎シャッター保守点検予定 消防庁舎床改修工事予定 消防庁舎シャッター修理予定 庫庫温風機取替工事予定
29年度 消防ポンプ保守点検予定 消防庁舎シャッター保守点検予定 発電機用バッテリー取替修理予定 デジタル携帯無線機電池購入予定

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消防施設整備は計画通り進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も消防施設の整備、更新は必要である。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止